

17団体の新規エントリーについて

(埼玉版スーパー・シティプロジェクト)

- ▶ 令和5年度に新たに**17団体**がエントリーすることで、プロジェクトに取り組む団体は合計**46団体**となる。
- ▶ 持続可能な成長を実現するまちづくりを全市町村で進めていくため、残り17の**未エントリー市町村の参加に向けて働きかけを強化**。

既エントリー29団体

令和3年度 (11団体)

さいたま市、熊谷市、秩父市、入間市、和光市、久喜市、毛呂山町、小川町、鳩山町、横瀬町、美里町

令和4年度 (18団体)

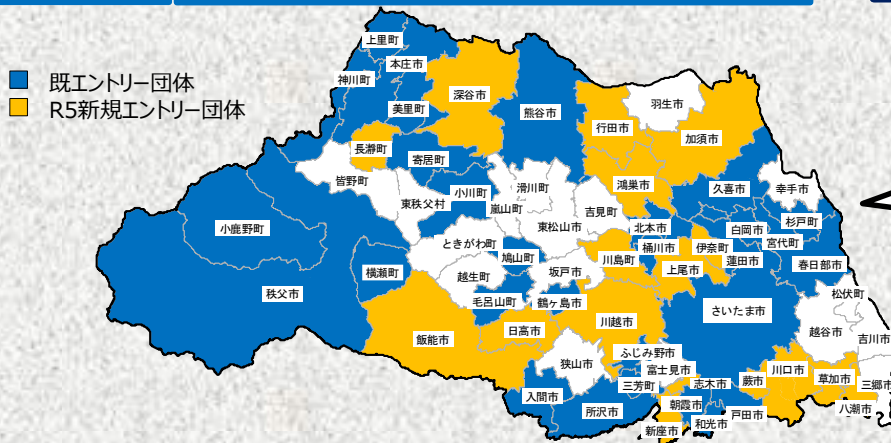
所沢市、本庄市、春日部市、戸田市、朝霞市、桶川市、北本市、蓮田市、鶴ヶ島市、ふじみ野市、白岡市、三芳町、小鹿野町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、杉戸町

令和5年度エントリー団体

新規

17
団体

川越市、川口市、行田市、飯能市、加須市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、蕨市、志木市、新座市、八潮市、日高市、伊奈町、川島町、長瀬町



プロジェクトに取り組む

市町村数 合計 **46** 団体

**5か年計画の令和8年度
目標値を前倒して達成**

新規エントリー 17団体の取組の傾向

- 新規エントリー団体の半数に当たる9団体以上が共通して掲げている取組は以下の7つ。
- その中でも、**施設の複合化・拠点化**や**公共空間活用による賑わい創出**（ともにコンパクト）、**利便性の高いモビリティサービス**（スマート）、**再エネ導入等による災害時電源確保**や**EV活用**（ともにレジリエント）の割合が高い。

要素	取組	17団体の取組割合	取組団体数
コンパクト	施設の複合化・拠点化	76%	13
	公共空間活用による賑わい創出	76%	13
	ウォークアブルなまちづくり	65%	11
	空き家・空き店舗の活用	53%	9
スマート	利便性の高いモビリティサービス	71%	12
レジリエント	再エネ導入等による災害時電源確保	100%	17
	EV活用	71%	12




エントリー46団体の取組の傾向

- エントリー46団体の半数に当たる23団体以上が共通して掲げている取組は以下の5つ。
- その中でも、**施設の複合化・拠点化**（コンパクト）や、**利便性の高いモビリティサービス**（スマート）、**再エネ導入等による災害時電源確保**（レジリエント）の割合が高い。

要素	取組	46団体の取組割合	取組団体数
コンパクト	施設の複合化・拠点化	70%	32
	公共空間活用による賑わい創出	61%	28
スマート	利便性の高いモビリティサービス	72%	33
レジリエント	再エネ導入等による災害時電源確保	100%	46
	EV活用	50%	23

エントリー46団体の取組の傾向

(令和5年度エントリー団体における具体例)

要素	取組	団体名	取組概要	イメージ
コンパクト	施設の 複合化・拠点化	志木市	<p>➤ 市民活動の拠点となる複合施設整備</p> <p>市民会館・体育館を中心市街地に位置する複合施設として再整備し、交流機能の充実を図るとともに、防災拠点施設としても活用</p>	 <p>市民活動の拠点となる新複合施設</p>
スマート	利便性の高い モビリティサービス	加須市	<p>➤ アプリ等を活用した交通利便性の向上</p> <p>24時間予約可能なデマンド型乗合タクシーの予約アプリの運用のほか、将来を見据えた自動運転技術等の新たなモビリティサービスの実証・導入</p>	 <p>デマンド型乗合タクシーのアプリ予約</p>
レジリエント	再エネ導入等による 災害時電源確保	川島町	<p>➤ 農地等への太陽光発電導入等による災害時の電源確保</p> <p>農地への営農型太陽光発電の導入や公共施設等への太陽光発電設備、蓄電池等の設置により災害時の電源を確保</p>	 <p>農業用貯水池の水面を利用した太陽光発電</p>

各団体の特徴的な取組

川越市 小江戸川越 次の100年へつなぐまちづくり

- 豊かなライフスタイルを叶える拠点の形成
各駅の拠点機能の充実と歩いて楽しいまちづくりの推進を通じた賑わいの創出等による、豊かなライフスタイルを叶える拠点の形成



コンパクト

飯能市 飯能市版スーパー・シティプロジェクト

- 居心地良く歩きたくなるまちづくり
飯能駅周辺の歩道の整備や無電柱化を進めるとともに、中心市街地の活性化により賑わいを創出



コンパクト

川口市 川口駅周辺まちづくりビジョンの実現に向けたまちづくり

- 関係人口の集積に資するまちづくりの推進
川口駅周辺における文化・芸術施設などの集客拠点の整備や各拠点が有機的に繋がったウォーカブルなまちの実現



コンパクト

加須市 かぞ版スーパーシティ ～まちなかにぎわい創出～

- 加須駅周辺におけるにぎわいの創出
鉄道事業者・商店会組織等との連携、空き家・空き店舗等の既存ストック活用によるまちなかの活性化や居住の促進



コンパクト

行田市 ～県内唯一の「日本遺産」構成資産を中心としたウォーカブルなまちづくり～

- 「日本遺産」の構成資産を中心としたまちづくり
地域の観光資源を安全に回遊するためのウォーカブルなまちづくりや住民主体によるエリアマネジメントの導入



コンパクト

鴻巣市 「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現

- 「(仮称)道の駅こうのす」の整備
農業をはじめとした市内産業の振興やにぎわい創出、地域の魅力発信の拠点施設となる道の駅を整備



コンパクト

各団体の特徴的な取組

深谷市 渋沢栄一「論語と算盤」の教えを踏まえた深谷版SDGsの実践

スマート

- **農業の強みを生かした産業の活力創出**
スマート農業をはじめとする農業技術の進化・変革を発信し、農業関連企業やアグリテック企業などの誘致・集積を推進



アグリテックイメージ

蕨市 日本一のコンパクトシティ蕨 ～未来への飛躍、選ばれるまちづくりへ～

コンパクト

- **駅前再開発や交流拠点整備によるにぎわい創出**
蕨駅西口再開発や中山道地区の新たな交流拠点の整備とともに、それぞれを結ぶ駅前商店街の活性化によりにぎわいを創出



蕨駅西口再開発イメージ

上尾市 みんなでつくる みんなが輝くまち あげお

コンパクト

- **拠点におけるコミュニティ醸成と賑わい創出**
市内各拠点における生活に必要な施設の維持・集積とコミュニティの醸成、ゆとりと賑わいあふれる歩行空間等の創出



平方拠点におけるかわまちづくり

志木市 志木市版スーパー・シティプロジェクト

コンパクト

- **中心市街地を核とした地域活性化**
志木駅東口からいろは親水公園まで続く本町通りの沿道と周辺エリアへの複合施設整備や空き店舗を活用した地域活性化



本町通り沿道の様子

草加市 だれもが幸せなまち 草加 スーパー・シティプロジェクト

コンパクト

- **エリアリノベーションの推進**
今ある地域資源を活用し、まちの新たな魅力・コンテンツを創出する民間主導の取組「そうかりノベーションまちづくり」の推進



そうかりノベーションまちづくり

新座市 新座市版スーパー・シティプロジェクト

コンパクト

- **都市拠点の強化と拠点間のネットワーク化**
複合施設におけるコミュニティ施設と公園の連携及び民間活力の活用によるにぎわい創出と拠点間を結ぶシンボルロードの整備



三軒屋公園等複合施設イメージ

各団体の特徴的な取組

八潮市 「住みやすさナンバー1のまち 八潮」の実現に向けて

コンパクト

➤ 地域交流拠点の形成

地域振興施設の集積等を通じ、生活環境や教育環境等に配慮した緑豊かな北部拠点を形成



北部拠点の形成イメージ

川島町 かわじまスーパー・シティプロジェクト ～ここが好き、やっぱり好き～

レジリエント

➤ 農地等への太陽光発電導入等による災害時の電源確保

農地への営農型太陽光発電の導入や公共施設等への太陽光発電設備、蓄電池等の設置により災害時の電源を確保



農業用貯水池の水面を利用した太陽光発電

日高市 日高市版スーパー・シティ構想

コンパクト

➤ ウォークアブルなまちづくりと地域活力の向上

高麗川駅東口・自由通路開設に合わせた市街地の利便性向上と周辺地域の賑わいの創出



高麗川駅東口・自由通路イメージ

長瀬町 いつまでも輝き続けるまち「はつらつ長瀬」

スマート

レジリエント

➤ 官民連携による移動販売車を活用した地域活力の向上

店舗の薬剤師や管理栄養士等とのオンライン健康相談の実施、移動販売を通じた地域交流の場の創出



移動販売の様子

伊奈町 伊奈町版スーパー・シティプロジェクト ～日本一住んでみたいまちを目指して～

コンパクト

レジリエント

➤ 新たなにぎわい拠点の創出

太陽光発電等を導入した役場新庁舎への図書館等の公共施設の集約や駅周辺の利便性向上による新たなにぎわい拠点の創出



現在の町役場

主な支援の内容（令和5年度）

【1】市町村事業化支援チームによる支援

- プロジェクトにエントリーした市町村ごとに県関係課で構成する事業化支援チームを編成し、プロジェクトの具体化を支援
- ワンストップ窓口（県エネルギー環境課）が一括して市町村の相談に対応

【2】プロジェクト推進補助金による財政支援

- プロジェクトに基づくまちづくりについて、検討等を支援する
①事業化検討補助と、事業実施をソフト・ハードの両面から支援する②事業推進補助により財政的に支援
＜活用市町村＞ 令和4年度：3市町、令和5年度：11市町（予定）

【3】まちづくりに関する技術支援

- 市町村の状況に応じたオーダーメイド型支援
 - ウォークアブルなまちづくりや市街地開発事業などの都市整備手法に関する技術面での助言・提案を実施
- 先行事例の研修会
 - 市町村の担当者向けに全国の先行事例を通して、まちづくりの手法等を学ぶ研修会を開催

【4】企業等とのマッチング支援

- 応援企業等登録制度（令和5年12月末現在：146団体）
 - 市町村と連携・協働してまちづくりを推進する意思がある企業・団体を登録し、県が市町村とのマッチングを実施
- 市町村と企業等との交流会
 - マッチングを促進する交流会を県が主催
- ガバメントピッチの開催（提案数：125件）
 - 市町村が抱える課題について、企業等が解決策を提案するガバメントピッチを開催し、両者のマッチングを強化
 - 12月には初めてマッチングが成立し、小鹿野町と株式会社Anotherworksが連携協定を締結
- まちづくり先行事例セミナー（2/1開催予定）
 - 小川町と連携して取り組む企業の先行事例を紹介するほか、ガバメントピッチ参加自治体による取組状況や感想の共有を予定



市町村と企業等との交流会



ガバメントピッチ



小鹿野町
連携協定締結式